

## 積算システムにおける 道路予備設計（1km 未満）の端数処理について

令和 8 年 7 月 1 日基準より、道路予備設計（1km 未満）の端数処理は、積算システムでは以下のとおりの考え方で積算されています。

道路予備設計（1km 未満）

$$S = A \times K \times R$$

$S$ ：設計歩掛（補正後の歩掛）

《少数第 3 位（少数第 4 位四捨五入）まで算出》

$A$ ：標準歩掛

$K$ ：単独区間あたりの補正

《少数第 2 位（少数第 3 位四捨五入）まで算出》

$$K = 1 + \frac{(k_1 + k_2 + \dots + k_n)}{100} \quad k_n : \text{各割増し率 (\%)}$$

$R$ ：単独区間あたり設計延長が 1 km 未満の場合の補正係数

《少数第 2 位（少数第 3 位四捨五入）まで算出》

$$R = 0.8 \times L + 0.2 \quad L : \text{設計延長 (km)}$$